

小林工業株式会社 環境経営レポート

2023

第12版

【対象期間】

第82期 2023年6月1日～2024年5月31日

【発行日】

2024年8月7日



トキ、
メイク、
マチ。★



エコアクション21[®]
認証番号0010194

目次

1. 会社概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営組織体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営目標の実績	7
6. 活動実績の取り組みと評価	8
7. 環境関連法規制の遵守状況	11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	12
9. 省資源化への取り組み	13
10. 地域貢献活動	14

1. 会社概要

事業所名	小林工業株式会社
代表者	代表取締役 小林祐介
所在地	本社 〒371-0024 群馬県前橋市表町二丁目11番8号 前橋支店 〒379-2166 群馬県前橋市野中町275番1号 埼玉支店 〒361-0075 埼玉県行田市向町25番20号 野中機材センター 〒379-2166 群馬県前橋市野中町稻荷下277
環境管理責任者	専務取締役 石原正男
担当者	片貝将昭 長谷川政夫 松本華奈
連絡先	TEL:027-224-1751 E-mail:info@kobayashikogyo.co.jp
HP	https://www.kobayashikogyo.co.jp
事業内容	総合建設業 特定建設業許可:国土交通大臣許可(特-2)第5610号 一般建設業許可:国土交通大臣許可(般-2)第5610号 一級建築士事務所:群馬県知事 第868号 宅地建物取引業者:群馬県知事(16)第292号
事業規模	創業:明治13年 設立:昭和19年3月27日 従業員数:95名(2024年5月31時点) 延床面積:本社983㎡、前橋支店226㎡、埼玉支店65㎡、 野中機材センター948㎡
資本金	9,500万円
売上高	49億3,800万円
対象範囲	全組織・全活動を対象とする
レポート対象期間	第82期(2023年6月1日~2024年5月31日)

2.経営経営方針

経営理念

小林工業株式会社は、建設業の使命として、
地域社会の貢献に努め、環境負荷の低減を図り、
より良い未来を目指し地球環境に配慮した活動に取り組みます。

基本方針

当社の事業活動が環境へ与える影響を考慮し、
社員一人ひとりが意識を高く持ち環境への影響低減に努め、
以下の環境保全活動を推進していきます。

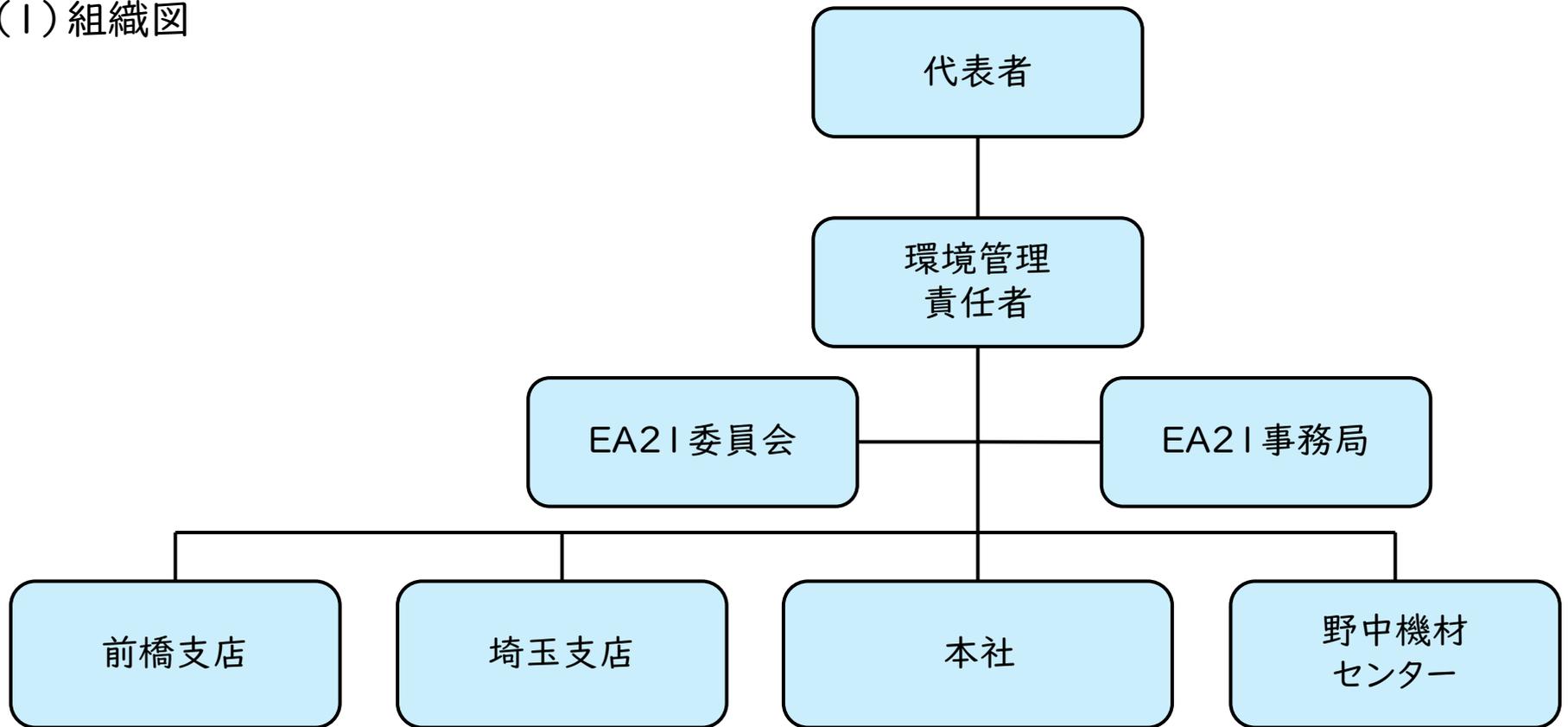
1. 二酸化炭素排出量の削減を図り、省エネ活動を推進します。
2. 廃棄物排出量の削減と資源の再利用を図り、省資源を推進します。
3. 水資源を有効活用し、節水を推進します。
4. 環境に配慮した施工を推進します。
5. 環境関連法規、条例を遵守します。
6. この環境方針・活動を社内外に公開し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

制定：2013年10月 1日
改定：2023年 6月 1日

小林工業株式会社
代表取締役 小林祐介

3.環境経営組織体制

(1) 組織図



(2) 役割・権限

<p>代表者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 ・該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ・エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）。 ・環境方針を制定する。 ・エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
<p>環境管理責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ・エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
<p>EA21事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局として、環境管理責任者を補佐する。 ・エコアクション21に関する実務全般を所管する。
<p>EA21委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最高責任者、環境管理責任者、事務局・部門長で構成し、環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4.環境経営目標

(1) 単年度及び中長期目標

環境目標	単位	基準値	単年度目標	中長期目標		
		2022年度実績	2023年度目標 基準値1%削減	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
二酸化炭素 排出量削減	Kg- co2	132,125	130,803	2022年度実績 1%削減	2022年度実績 1%削減	2022年度実績 1%削減
一般廃棄物 排出量削減	t	2.72	2.69	2022年度実績 1%削減	2022年度実績 1%削減	2022年度実績 1%削減
産業廃棄物 再資源化率	%	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00
産業廃棄物 排出量	t	1,806 (参考数値)	—	—	—	—
水資源投入量 (事業所排出量)	m ³	997	987	2022年度実績 1%削減	2022年度実績 1%削減	2022年度実績 1%削減
水資源投入量 (現場排出量)	m ³	606 (参考数値)	—	—	—	—
環境配慮した施工・ 建材の推奨	件	施工:全件	施工:全件	施工:全件	施工:全件	施工:全件

* 2021年度の購入電力の排出係数は、R2年度実績を使用。
(ハルエネ:0.395g-CO2/Kwh、東京電力エネルギーパートナー:0.443kg-CO2/Kwh)

* 産業廃棄物産出量、水資源投入量の現場排出量は参考数値とする。

* 当社は化学物質は使用していない為、目標数値は設定しない。

* 環境配慮した施工・建材の推奨内容は、
主に環境負荷の少ない材料の使用、低騒音・排出ガス対策の工作機械の使用。
省エネ効果が期待できる建材・商品の推奨。

5.環境経営目標の実績

(1) 2023年度環境経営目標の実績

環境目標	単位	基準値	単年度目標	2023年度実績	達成状況	評価
		2022年度実績	2023年度目標 基準値1%削減			
二酸化炭素 排出量削減	Kg- co2	132,125	130,803	158,330	19.83%増加	×
一般廃棄物 排出量削減	t	2.72	2.69	1.46	-46.32削減	○
産業廃棄物 再資源化率	%	99.00	99.00	94.70	4.3%未達成	×
産業廃棄物 排出量	t	1,806 (参考数値)	—	4,449	—	—
水資源投入量 (事業所排出量)	m ³	997	987	1,138	14.14%増加	×
水資源投入量 (現場排出量)	m ³	606 (参考数値)	—	923	—	—
環境配慮した施工・ 建材の推奨	件	施工:全件	施工:全件	施工:全件	100%	○

* 2021年度の購入電力の排出係数は、R2年度実績を使用。
(ハルエネ:0.395g-CO2/Kwh、東京電力エネルギーパートナー:0.443kg-CO2/Kwh)

* 産業廃棄物産出量、水資源投入量の現場排出量は参考数値とする。

* 当社は化学物質は使用していない為、目標数値は設定しない。

* 環境配慮した施工・建材の推奨内容は、
主に環境負荷の少ない材料の使用、低騒音・排出ガス対策の工作機械の使用。
省エネ効果が期待できる建材・商品の推奨。

* 判定は、○:達成 ×:未達成

6.活動実績の取り組みと評価

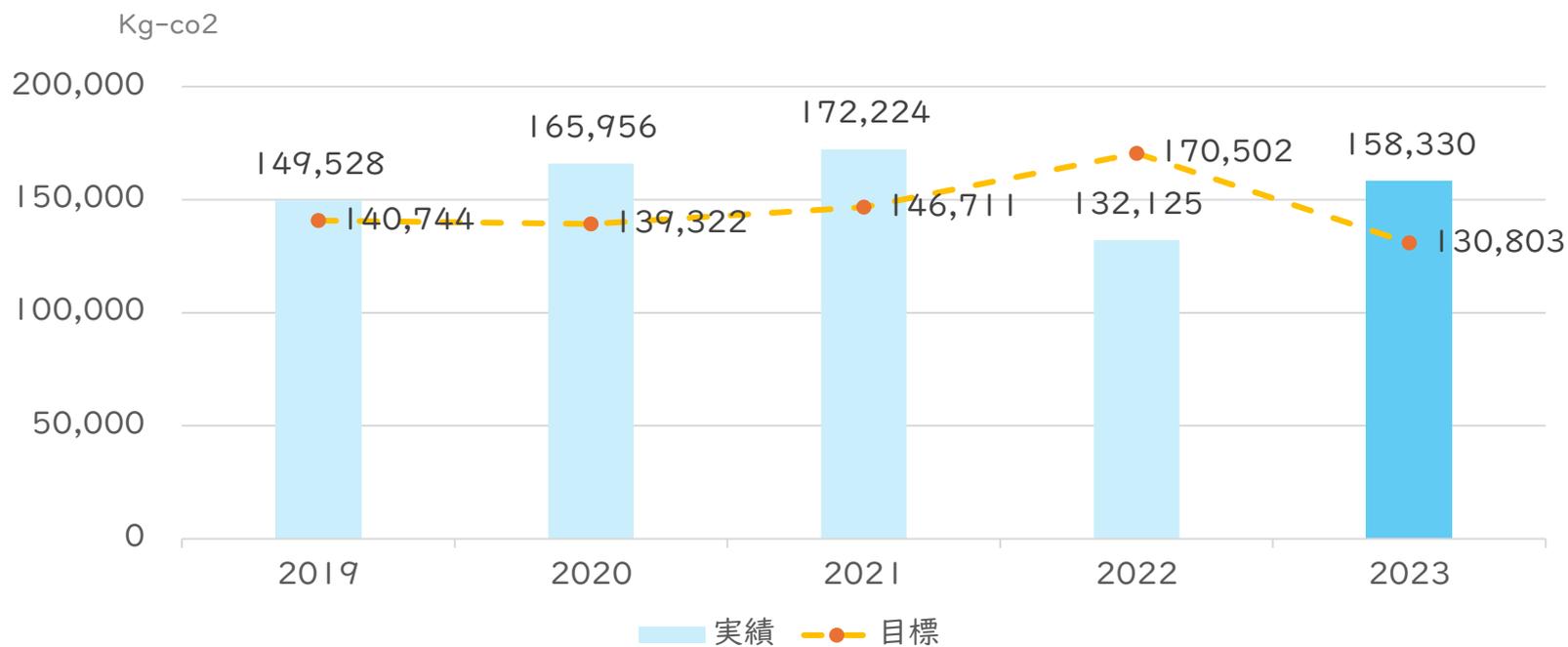
(1) 二酸化炭素排出量の削減



▼活動内容

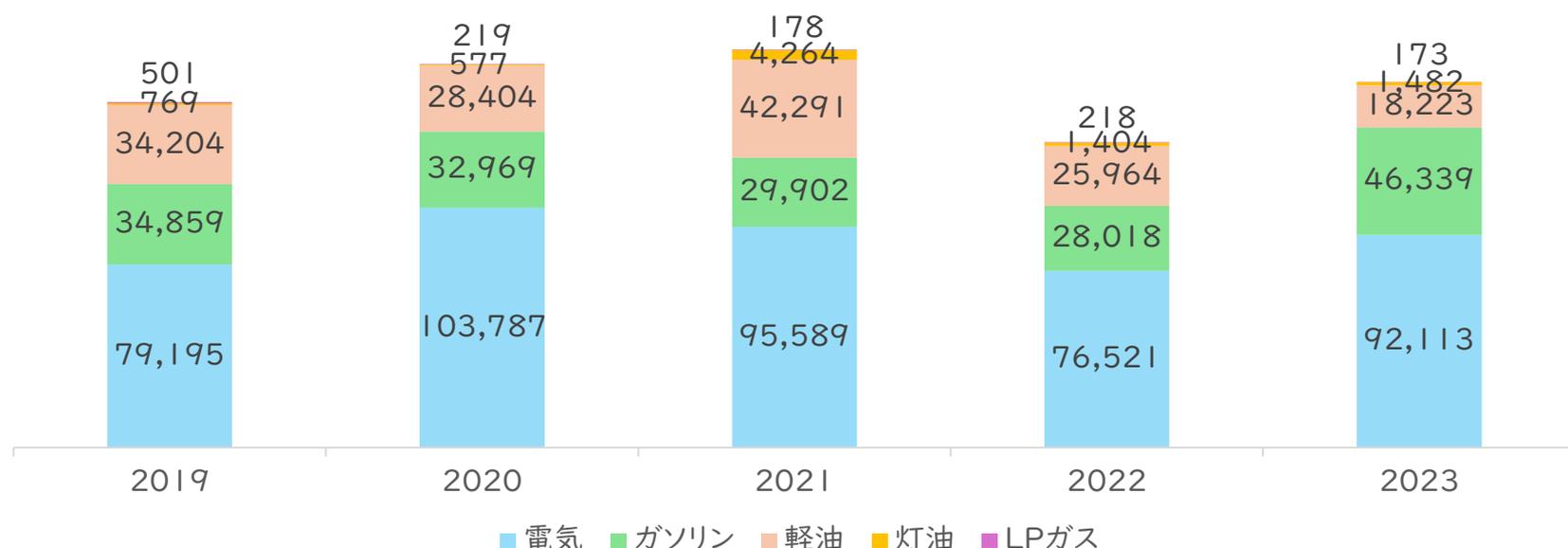
- ・空調温度適正化、温度表示
- ・照明、PC電源不要時のOFFの推進
- ・エアコン清掃の実施
- ・エコドライブ推進
- ・社用車の点検・整備

達成状況	評価
19.83%増加	×



取組結果と評価	今後の取り組み
<p>新設部署、人員増加により電気・ガソリンの使用量純増となりCO2排出量は増加。新部署用のPC入替を行い、省エネ化を図っている。また、遠方現場の減少と新型トラックの稼働が増えたことで軽油消費量を削減できた。</p>	<p>工事内容による使用量の変動は大きいですが、適切な機器利用で、削減につながるよう取り組みを続ける。 気象変動(特に夏場)による寒暖差が激しいので、空調機器は臨機応変な稼働を行う。</p>

(2) 項目別の推移 (kg-co2)



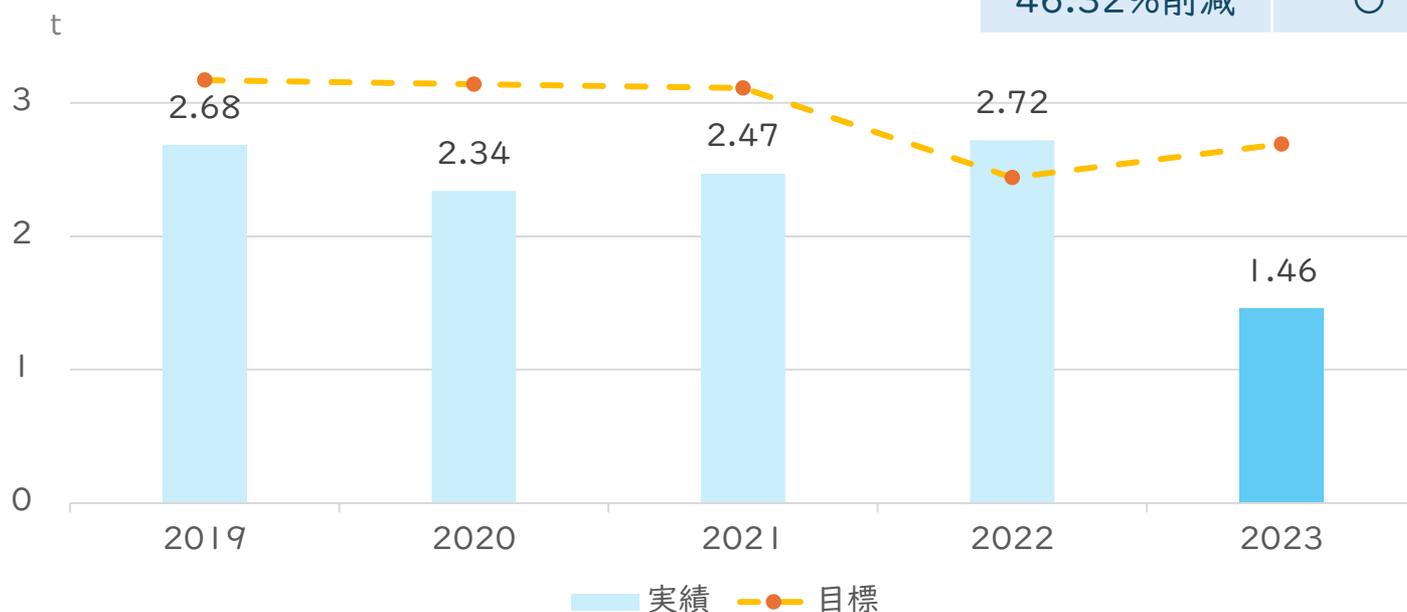
6.活動実績の取り組みと評価

(3) 一般廃棄物排出量の削減

達成状況	評価
46.32%削減	○



- ▼活動内容
- ・分別ルールの徹底
 - ・一般ごみの抑制
 - ・紙出力の抑制



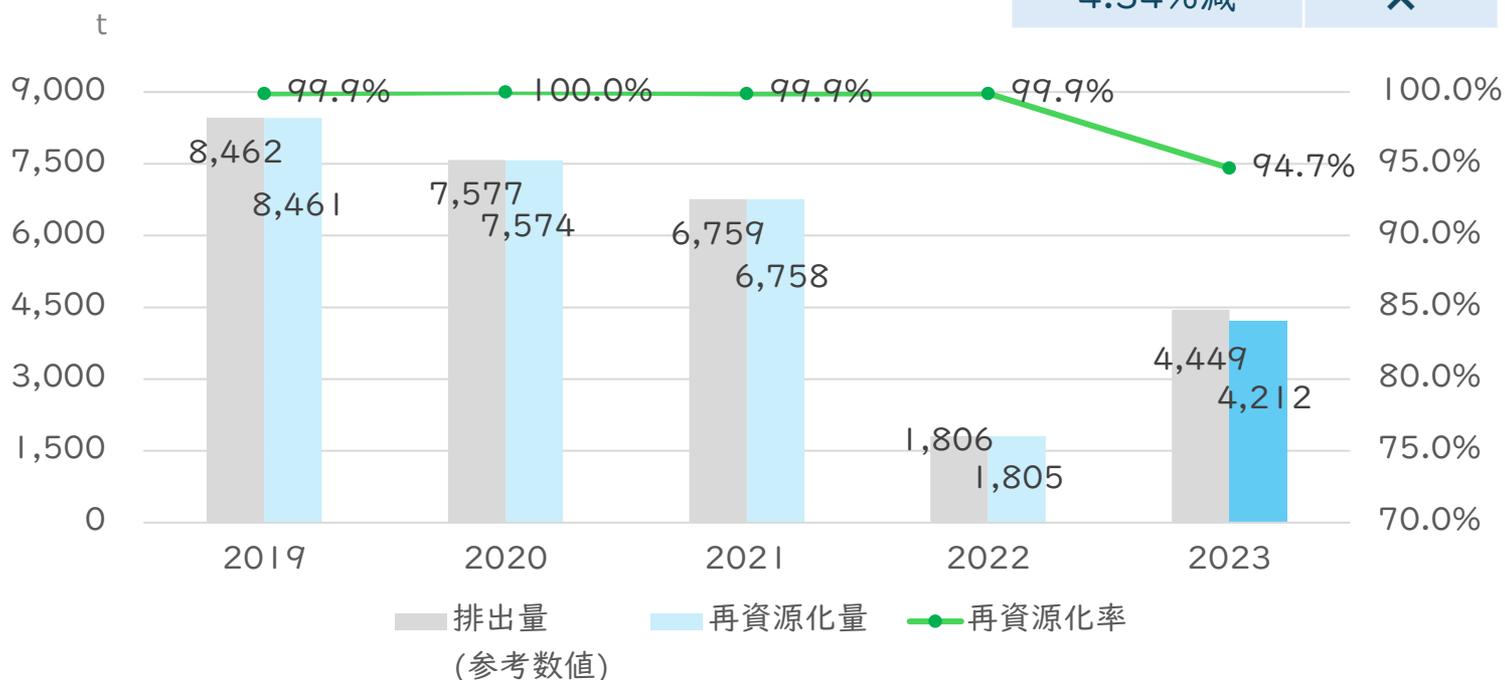
取組結果と評価	今後の取り組み
社内書類のペーパーレス化、請求システム導入効果で保管書類の削減につながっている。また、段ボールの排出量が抑制されており(前年比20%減少)、書類保管時の段ボール使用量が減少していることが大きな要因となった。	システム化に業務領域を増やして、オンライン化による業務転換でペーパーレス化をさらに推進する。ゴミ分別や抑制は引き続き啓蒙していく。

(4) 産業廃棄物の再資源化率

達成状況	評価
4.34%減	×



- ▼活動内容
- ・分別ルールの徹底
 - ・廃棄物置場の整備



取組結果と評価	今後の取り組み
解体工事で主に廃石膏ボードが最終処分の廃棄物として多く発生したため、再資源化率の目標数値99%まで4.34%とどかなかった。産廃排出量は減少傾向ではあるが、工事内容や受注状況で変動が大きいので参考数値とする。	工事内容で産廃排出量の増減が大きいのが、排出量の抑制と再資源化に努めて、再資源化率を保っていく。

6.活動実績の取り組みと評価

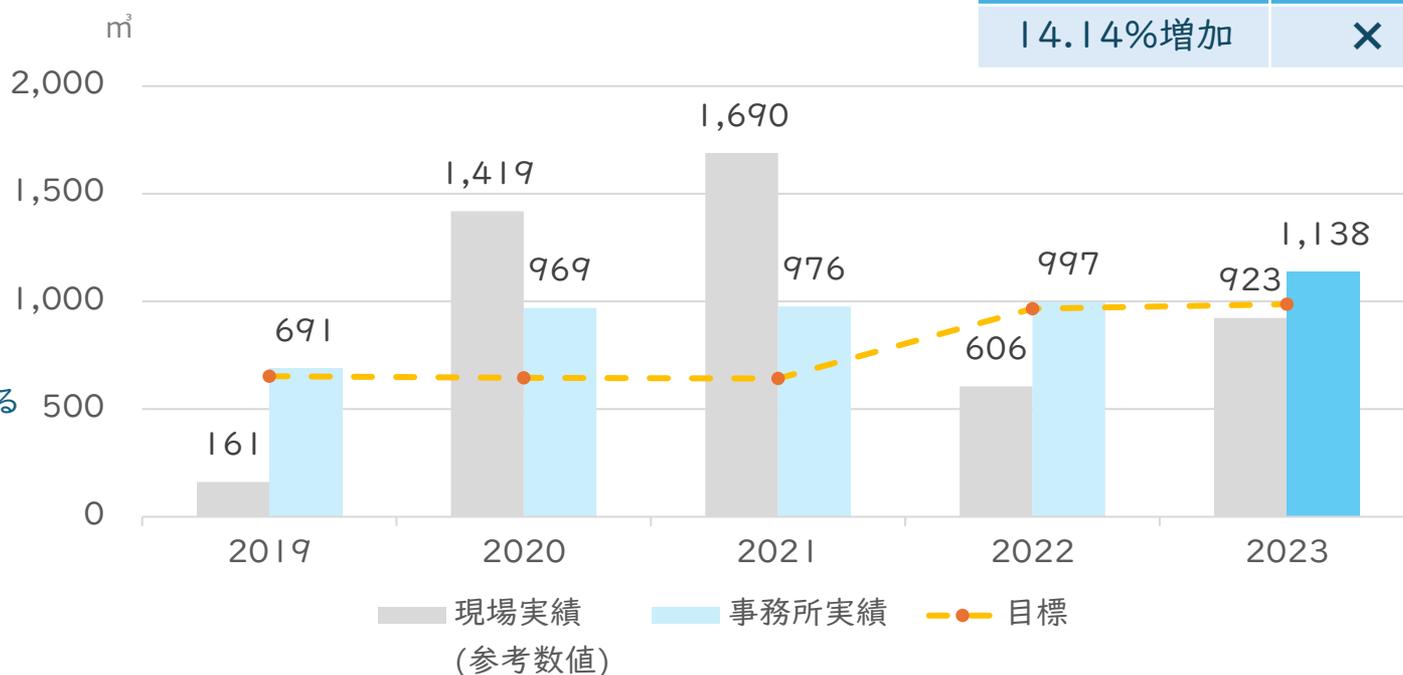
(5) 水資源投入量の削減

達成状況	評価
14.14%増加	×



▼活動内容

- ・毎月のメータを確認する
- ・節水喚起表示



取組結果と評価	今後の取り組み
<p>新設部署、人員増加により使用量は純増。一般事務所については、横ばい推移。漏水対策として本社水道メーターを更新している。現場排出量は工事内容で変動が大きいので参考数値とする。</p>	<p>水道料削減目標値を達成できるよう、引き続き節水・削減に励んでいく。</p>

(6) 環境配慮した施工・建材の推進

達成状況	評価
100%	○



▼活動内容

- ・省エネ建築の推進
- ・環境に配慮した施工を推進
- ・生態系に配慮した施工を推進

環境に配慮した施工▶

重機による舗装版損傷や、掘削箇所の崩壊防止、近接住宅への振動防止のために、敷鉄板を使用し重機の振動を少なくしています。



◀環境に配慮した商品の推進

リフォーム相談会を実施して、省エネ効果の高い商品・建材を推進しています。

取組結果と評価	今後の取り組み
<p>環境に配慮した施工は全件で取り組んでいる。目標に関わる目標シートで省エネ建材の使用内容や低騒音・低排出ガスの重機使用や現場周辺清掃など確認している(15件)。リフォームでは補助金を活用したエコ商品をイベントで推進(補助金活用13件)。</p>	<p>今後も環境配慮に対する活動・工夫点を把握しながら、環境配慮への取り組みを推進していく。</p>

7.環境関連法規制の遵守

(1) 主な環境関連法規制の遵守状況

法規制等の名称	具体的内容	遵守状況
廃棄物処理法	委託業者との契約・請書保管 マニフェストの交付・保管 マニフェストの交付状況報告の提出 知事・市町村長への届出 収集運搬許可の確認	遵守
労働安全衛生法	建築工事計画の届出 作業環境測定・記録の保存	遵守
リサイクル法	再資源利用計画書(実施書)の作成 再資源利用促進計画書(実施書)の作成	遵守
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書の作成 発注者への完了報告書の作成 知事への届出	遵守
建築基準法	建材の使用禁止及び規制の確認 環境測定の実施・記録の保存 SDSの確認	遵守
建築物省エネ法	発注者への計画等説明書と完了報告書 下請負者への告知書 知事・市長への届出	遵守
騒音規制法	県・市町村への事前確認 知事・市町村長へ7日前までに届出	遵守
振動規制法	県・市町村への事前確認 知事・市町村長へ7日前までに届出	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵・取扱管理記録 所轄消防長または消防署長への届出 消防管理者の選任	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品のフロン漏洩点検の実施	遵守
大気汚染防止法	アスベスト事前調査 県・労働基準監督署への調査結果報告 知事への届出	遵守
残土・埋立条例	・群馬県 排出場所ごとに、同一の排出場所から搬入する量が5,000m ³ を超えるごとに、知事へ10日前までに知事に届出 ・前橋市 土砂等による埋立て等の面積が1,000m ² 以上の場合は市長の許可	遵守

(2) 環境関連法規制等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規制遵守状況の確認において違反、訴訟はありません。
尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間に於いてもありません。

8.代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

建設業でも生産性向上に取り組む必要性を大きく問われております。弊社も、業務効率化の取り組みとして、DX化を全社をあげて推進しております。

今期は、請求書のペーパーレス化に着手し、約90%をデータでの取引に変換することができました。この効率化によって、紙資源の削減はもちろんですが、書類を会社に取りに来るための車の燃料消費や書類配送コストなど、さまざまな波及効果を生み出すことができました。

売り上げ増加に伴い排出量も増加し、目標達成できなかった項目もありましたが、今後も前年比1%減を目標に取り組んでまいります。

建設業はDX化が遅れている業界といわれておりますが、この成功体験をもっと加速させ、生産性向上と共に環境負荷低減に貢献してまいります。

作成年月日： 2024年8月7日

代表取締役 小林祐介

(2) 見直しによる変更性の有無

法規制等の名称	変更の有無	遵守状況
環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	環境保全活動の表記を変更。
環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	水資源排出量は現場排出量は参考数値として除外する。
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし。
実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし。
その他 環境経営システム	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし。

9.省資源化への取り組み

(1) ペーパーレス化の取り組み

インボイス制度・電子帳簿保存法を契機に請求書処理DXサービスのデジタルビルダーを導入しました。これにより約90%の請求書をペーパーレス化することができました。



約90%
オンライン化!



今までは、郵送・開封や現場-本社間での受け渡しなどの請求書の運搬に手間と時間がかかっていましたが、導入後は、請求書のやり取りは電子上で完結し、運搬に必要な作業がゼロになり、運搬に関わる車の燃料消費や紙資源の取扱量削減につながっています。

(2) 低燃費車への入替



低燃費の車両へ入れ替えを順次行っております。
高年式の車両を優先し稼働させて、燃料消費の低減を図っています。

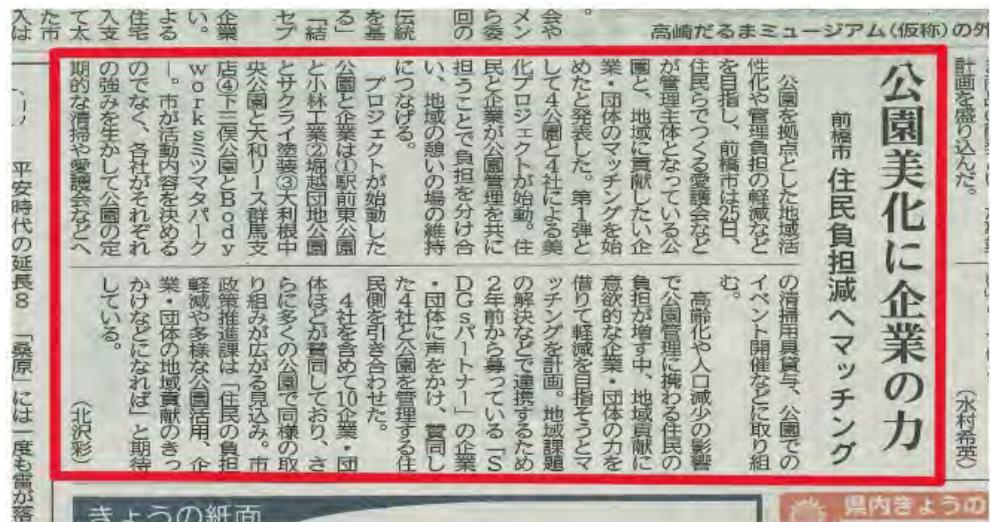


10. 地域貢献活動

(1) SDGs活動

前橋市にて、SDGsパートナー×公園美化プロジェクトの記者会見が開催されました。

弊社はこのSDGsパートナー×公園美化プロジェクトに賛同し、地域の皆様が安心して暮らしていける町や社会の持続を目指す取り組みとして、参加することといたしました。



本プロジェクトは、公園愛護会など地域住民が担ってきた身近な公園の維持管理が難しくなっていることや、地域活動の場としての公園利用が減少している現状を踏まえ、前橋市のSDGsパートナー企業と身近な公園がマッチングし、公園の維持管理の負担軽減と新たな公園の利活用を図る活動です。

これからも地域とのつながりを大切に、公園美化活動を通じて地域への貢献を続けてまいります。

トキ、 ヌイタ、 マチ。

思えばいつだって、まちとともにあった。

大工であり、火消しであった昔から

ひとを、まちを想い、守ることを我が使命ととらえるDNAは

時々でカタチを変えながら受け継がれている。

わたしたちはまちの景色をつくっている。

ただのモノではなく、ひとの営みが行き交う〈場所〉をつくっている。

そこに流れる〈とき〉は、やがてはひとの、まちの、〈記憶〉となる。

ひとの記憶にときめきを。まちの景色にいろどりを。

わたしたちはこれからも、ひとの まちの ときをつくり続ける。

★Toki Make★
KOBAYASHI